

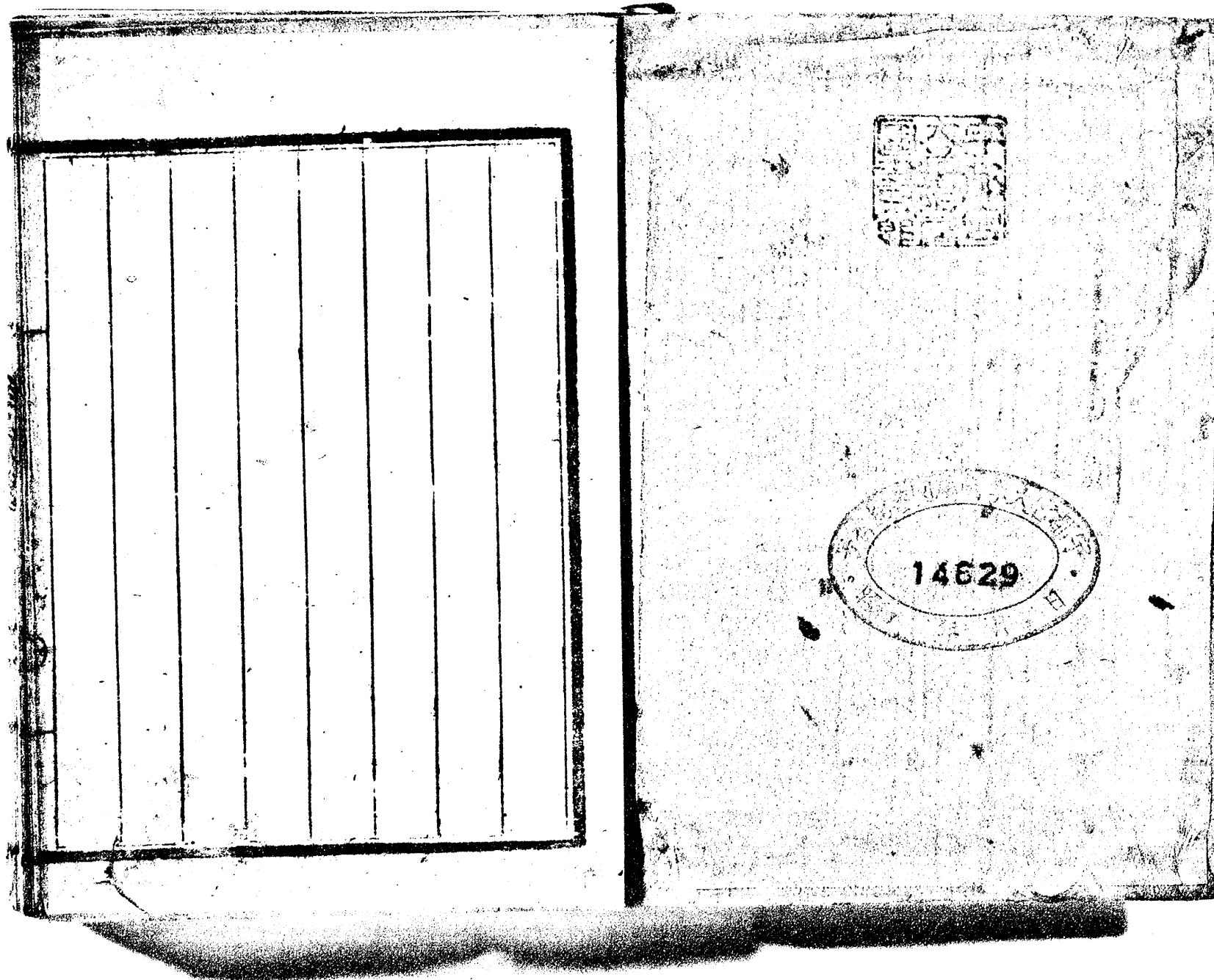
縣
備忘

C0931
1

京都大学
附属図書館
大川
2072

大川
207





廣西會館刻在，通志是公案此為
節，失其事。

宣統元年七月廿五日

天一
銀則

才一條所到地方視之以爲棄
又十餘里、豫算乃三、徵收才
法、識是、

才二條府縣令會ハ通事令ト成
時方トノ二款ニツキ是故ニ於テ
軍ク者ヲ通事令トナシ臨時ニ毎
ク若ク臨時令トナス
才三條通事令臨時令ヲ編纂
令後ノ改定ハ總テ府縣令ノ會
ヨリ之ヲ裁ス。

才四條臨時令ハ主特ニ令後ヲ

要スル事件ヲ限リ之也。事件ヲ
改スルヲ得ス。

才五條凡ク地方統ヲ以テ臨時
スヘキ事件ハ府縣令會改定スル
後其ハ府縣令會令臨時令トス
應リスヘキ者トス。是レ府縣令會
令ニ改定ヲ得。トスヘカラスト思
スル時ハ主事令ヲ因テ之ヲ具
シテ

廿七
廿八
廿九
三十

指揮ヲ任フヘシ

戸市障府知事ハ毎年通事金庫

ノ如ク於テ此ノ視ニ任ルル事度

ノ出納ノ事ハ任事者ヲ委リ

廿七條通事金庫中一役多ノ門

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

ノ事ハ人ノ數ハ多ク其ノ中ノ

之ヲ移リスルヲ降

十二

年

才十

降

才十降

才十降

才十降

才十降

才十降

才十降

才十降

才十降

才十降

才十降

才十降

才十降

才十降

へ天者、彼二十五年、是ノ男子ニシテ
 其年、如四ノ本籍ヲ是ノ海ニ至
 住ル、主ノ所、如四ノ地、社、如四ノ
 子、如四ノ者、限、如四ノ者、如四ノ
 如四ノ者、如四ノ者、如四ノ者、如四ノ
 如四ノ者、如四ノ者、如四ノ者、如四ノ
 如四ノ者、如四ノ者、如四ノ者、如四ノ

ニ至セラレ名者

才三款 所代ノ如四ノ者、如四ノ
 如四ノ者、如四ノ者、如四ノ者、如四ノ
 才四款 官、如四ノ者、如四ノ者、如四ノ
 如四ノ者、如四ノ者、如四ノ者、如四ノ
 才五款 如四ノ者、如四ノ者、如四ノ者、如四ノ
 如四ノ者、如四ノ者、如四ノ者、如四ノ
 才六款 如四ノ者、如四ノ者、如四ノ者、如四ノ
 如四ノ者、如四ノ者、如四ノ者、如四ノ

地租五圓以上ノ地ハ其ノ限ルヘシ
但テ其ノ片一畝ハ二畝ナラズ
ニ属ル者ハ選舉ノ名ヲ得ス
才十五歳以上ニ達セシトスルハ
府知事ノ命令ヨリ其ノ内ニ選舉
會ヲ設クヘキナラズ其ノ形ニ長
ハ該ノ選舉會ノ投票ヲ爲スヘキ日ヲ
定メ少クモ十ナラズニテ之ヲ形ニ

ト爲スヘシ

才十五歳以上ニ達セシトスルハ
府知事ノ命令ヨリ其ノ内ニ選舉
會ヲ設クヘキナラズ其ノ形ニ長
ハ該ノ選舉會ノ投票ヲ爲スヘキ日ヲ
定メ少クモ十ナラズニテ之ヲ形ニ
爲スヘシ

及、被控人ノ領事館長年數ニ
シテ該館長ノ日ニテ領事館長ニ出スヘシ
投票ハ多數ノ者ヲ以テ當選人ト
シ同數ノ者ハ年長ヲ以テ同年ノ者
ハ同ノ以テ以テ之ム

但投票ハ代ノ代ニ出スヘシ
年十八歳投票権ノ後領事館長
ハ投票人ノ長ヲ以テ投票ノ當

若シ投票人又被控人ノ長ヲ以テ
當選人ノ多數ヲ得タル者ハ該館長
ヲ以テ投票人ノ長ヲ以テ投票ノ當
自ラ以テ投票人ノ長ヲ以テ投票
ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ

年十九歳投票人ノ當選人ノ長
ナルノ領事館長ハ主當選人ヲ以テ
投票人ノ長ヲ以テ投票ノ當選人

ハ諸君ヲ以テ

但當權人其法ヲ以テ之ル后部色長

ハミテ其法ヲ以テ之ル后部色長

ハ二十條一人ニシテ其部色ノ權ニ當

ルハ其法ヲ以テ之ル后部色長

ノ如ク任スヘシ

ハ二十一條其法ヲ以テ之ル后部色長

毎々令教ノ事ヲ以テ之ル后部色長

其ノ以テ之ル后部色長ハ抽籤法ヲ以テ之ル
退任ノ人ヲ以テ之ル

ハ二十條其法ヲ以テ之ル后部色長

トシ其法ヲ以テ之ル后部色長

ハ二十條其法ヲ以テ之ル后部色長

其法ヲ以テ之ル后部色長

ハ二十條其法ヲ以テ之ル后部色長

ハ二十條其法ヲ以テ之ル后部色長

府外に轉任スルカ又ハ死シタルハ
ハ更ニ之ヲ代ル者ヲ擢用スル
府外に止ムヲ得サル事歟ナリテ
會ノ相集ニ至セサル者ハ退職者ト
シテ之ヲ代ル者ヲ擢用ス

第三卷 漢別

才也之隆會後ハ五半也之隆
ハ當リノ會後ヲ開クヲ得ス

才也之隆會後ハ五半也之隆
才也之隆會後ハ五半也之隆
才也之隆會後ハ五半也之隆

才也之隆會後ハ五半也之隆
才也之隆會後ハ五半也之隆
才也之隆會後ハ五半也之隆

才也之隆會後ハ五半也之隆
才也之隆會後ハ五半也之隆
才也之隆會後ハ五半也之隆

府知事多金ノ要ニ依リ又ハ改メ
ノミヤルヲ以テ修補ヲ禁スルヲ得
年廿九條漢里ハ金ノ後ニ方リ完
ニ討偏ノ程ヲ智ス然レハ人ノ上
ニ自應貶毀差ニ依ルヲ得ス
才三十條漢里ヲ整理スルハ改セノ
取立^ト善^ト規^ト別^トニサキ^ト漢セ^ト之^ト
制定^トシテ^ト命令^トニ依^トハサル者アルハ改

長云ウ漢里外ニ退去セシムルヲ得共
住居ノ法ル者ハ金ノ後ニ方リ完
ノミヤルヲ以テ修補ヲ禁スルヲ得

第四條 関関

才三十條府知事ハ毎年一度ニ
ニ移ラニテ^ト関^トニ^ト金^トノ^ト年^トハ^ト府^ト知^ト事^ト
知事^トヨリ^ト之^ト命令^トニ^ト依^トリ^ト三十日^トニ^ト日^ト
ト^トハ^ト府^ト知^ト事^トハ^ト金^トノ^ト後^トニ^ト完^ト漢^ト

ヲ北リテミヨリ根ヲ伸ルヲ得ルト
陸モミヨリ由ヲ得ルヨリ勢ハ大ニ強
スヘシ

才三十二條通シテ年々金銀ノ分金銀
ニ付スヘキ事ヲ務メル時ニ至ル事
御金ハ既ニ得ル金ヲ開クヲ得
但該金ヲ要スル事由ヲモミ内務
ノニ務メスヘシ

才三十三條金銀ノ傷統國ノ安寧
ヲ害スル或ハ法律又ハ規則ヲ犯ス
トアリト認ム中ニ至ル事金銀ハ金
銀ヲ中止セシメ内務ノニ具狀シテ
才ノ抄釋ヲ得フヘシ

才三十四條金銀ノ傷統國ノ安寧ヲ
害スル或ハ法律又ハ規則ヲ犯ス
トアリト認ム時ハ内務ノニ具狀シテ

時う問ハス困舎ヲ命シ又ハ強ク
ノ解散ヲ命スルヲ得
ノ三千ノ條内事方々ナリ解散ヲ
命シ名中ハ事ヲ強クナリ以權ス
ヘシ

○

第三十九年

地方税中營業稅雜稅ノ類
及ニ制限左ノ通事定リ事此ノ事名
ナキ事

地方稅
制限

第三十九年ナリ事此ノ事名無視
ナ一營業稅稅額ヲ云テ云額トスル
稅額ナ一額ハ金額ナリ以因トシ
ニ額ハ金額由以因トシナ三ノ事ハ金

少國通トス其國左ノ也

但國税了ん之ノヲ除ク

才一額

社會社及ニ法年登支

才二額

法仲支商

才三額

法少支商及ニ種商

才二第 難種税ハ其種税ニ依

リ其額ニ税額ヲ是ハ其目左ノ也

船 明治七年才五等 車 馬車 大八等

人カ車 荷役車 荷役車 大七 大八等

國税ノ半額以門

法市場 演劇ニ他法無以 其遊藝

上リヨリ其目法遊藝場 其目

ノ其目其目其目其目其目

料理屋 料理科 待合室 惣取本

美和菓子 人形店

三斗年 金吾園以四

呉服 古道具 襦袢 江戸着店

三斗年 金吾園以四

古道具 金古道具 和服 江戸着店

襦袢 古道具 江戸着店

三斗年 金吾園以四

湯屋 料理屋 江戸着店

三斗年 金吾園以四

遊藝場 遊藝家 江戸着店

三斗年 金吾園以四

能楽 三斗年 金吾園以四

茶間 茶屋 三斗年 金吾園以四

水車 三斗年 金吾園以四

金吾園 三斗年 金吾園以四

唐半 多良ニ金多ク取リ

第三條 漁業稅 林業稅 土地
稅 米稅 酒稅 鹽稅 糖稅 茶稅
其他稅 凡此等稅 悉依舊
例 勿得變更 如有變更 必
經 朝廷 批准 方可施行 其
第四條 凡此等稅 悉依舊
例 勿得變更 如有變更 必
經 朝廷 批准 方可施行 其
第五條 凡此等稅 悉依舊
例 勿得變更 如有變更 必
經 朝廷 批准 方可施行 其

第六條 凡此等稅 悉依舊
例 勿得變更 如有變更 必
經 朝廷 批准 方可施行 其
第七條 凡此等稅 悉依舊
例 勿得變更 如有變更 必
經 朝廷 批准 方可施行 其

第八條 凡此等稅 悉依舊
例 勿得變更 如有變更 必
經 朝廷 批准 方可施行 其
第九條 凡此等稅 悉依舊
例 勿得變更 如有變更 必
經 朝廷 批准 方可施行 其
第十條 凡此等稅 悉依舊
例 勿得變更 如有變更 必
經 朝廷 批准 方可施行 其

第十一條 凡此等稅 悉依舊
例 勿得變更 如有變更 必
經 朝廷 批准 方可施行 其

萬事未了而大元ノ又ハ年々々々々々
少事ヲ了スルモノハ其ノ後故ノ事
モ多キモノモ個ノ事ヲ徴収スヘシ
才七降凡ノ税額ハ其ノ年ノ以
テ其制限ヲ定ムト降モ各地ノ
便宜ノ係ル年額ニ準據シ日
税月税トシテ之ヲ徴収スルコト
ヲ得

才八降才五降才七降才七降
是レ先課目課額ハ其ノ事
縣令ヨリ内務省ニ報告スルコト
スヘシ

乙卯三載三季

當年七月乙卯三月至四月以前年
一月八金五元止本年此月經算
其年八月後及本年止至本年止
此月經稅及經算之數算別紙
通古定之率此年不主之
明治十二年一月止本年止至本年止

明治十二年 自一月至地方經費算

金九萬九千九百九十九圓九千九百九十九圓
金九萬九千九百九十九圓九千九百九十九圓

金九萬九千九百九十九圓九千九百九十九圓

門

金九萬九千九百九十九圓九千九百九十九圓

金九萬九千九百九十九圓九千九百九十九圓

金九萬九千九百九十九圓九千九百九十九圓

地方稅
經費算

金...
金...
金...

金...
金...
金...

外

金...
金...
金...

金...
金...
金...

金...
金...
金...

金...
金...
金...

金...
金...

...

金...
金...

金...
金...
金...

外

金...
金...
金...

金...
金...
金...

金...
金...
金...

金...
金...

金三子王格三目三格八事九事五院共

分

金三子王格三目三格八事九事五院共

金三子王格三目三格八事九事五院共

金三子王格三目三格八事九事五院共

金三子王格三目三格八事九事五院共

七通

明三十三平一月 木正

唯三十一日一月廿月法稅收大總算

一金九万九千九百九十九元七角八分

内澤

金三子王格三目三格八事九事五院共

金三子王格三目三格八事九事五院共

但多稅ノ補助スベキ分

金三子王格三目三格八事九事五院共

但地租金田ニ付金七拾五元

諸稅収
豫算

令男多者各回其家
戶數刻

但戶數一戶戶金以爲美

〰〰〰

明治十一年丁未 市町會

乙未三十日

之般乙未三月三日丁未三月三日

豫算及減課率市町會之特示ハ

市役所取組長及通事定之申付

市役所之事

明治十一年二月丁未市町會爲新

地價刻戸數刻市役所之納付限

二月末六限 地價刻 全部市

三月三十限 戸數刻 日市數

四月三十限 地價刻 日市數

七月三十限 戸數刻 日市數

市役所
納期

明治十年任七月即主八月五年

初名以乾多授用底令紙澤佐并

一金四千五百圓 十八年主紙

因

金也乃男好主因主多美亮

金也乃男好主因主多美亮

金金千八百圓

三三

一金三千五百圓 八月主保金

以紙澤割令左ノ如し

一官月人口主多美亮主多美亮人

任主 (主多美亮主多美亮主多美亮)

師範校
賦課佐并

乙未四月廿号

此乃後校中、戸数割に原毎戸
ノ多寡に依りて差を算する事、深
スルノ穩當ナル理に於て、尤モ親
キモノニシテ之ヲモテ、陰に考
テ、事ノ立難タル事、易ク之ヲ能
ヘカラス故に、他日、金算、改メ、後
到リ、断次、以、良スルノ目途ヲ要ス

先ツ之カ根據ヲ、算、逐、年、増、養
シテ、終ニ完全ナル結果ヲ見ルヲ
要セサルヘカラス因テ、目下、已ム
得ス、若シ、村ノ戸數、算、一、般
同率ノ額、金ヲ、賦課ス、算、之
ク、若シ、村ノ戸數、一、主、増、養、ノ
テ、算、地、算、之、方、法、ヲ、モ、テ、後
可、村、戸、算、スル、金、算、ノ、事、ハ、

を多量と爲しテ多能スルノ法案
ヲ制定シテ年毎の編制を
憲ナキヲ要シテ務メテ之ヲ割合
スルノ事ヲ以テテ之ヲ以テ
爲スル事

明治十三年三月廿九日
勅令第百九十四号

戸口調査

国及地方税及民衆ノ爲メ
セリ所ナキ事ニテ之ヲ改メテ
地方税トシテ之ヲ以テ
爲スル事

明治十三年七月廿九日
勅令第百九十四号
第一條 地方税ニテ之ヲ以テ
一 地稅トシ一 以テ

地方税
規則

一、軍事稅及雜稅

一、卜款刻

第二、軍事稅及雜稅

及及制限、不、以、一、年、一、以、一、之

又、是、山

第三、陸地、地方稅、以、一、年、一、以、一、之

第四、目、左、一、也

一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅

一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅

一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅

一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅

一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅

一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅

一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅

一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅、一、軍事稅

一、浦、設、場、及、雜、稅、及、雜、稅

九、陸奥スヘシ

才四降非常ノ費用ハ

陸奥ニミツツルハ得サルヲ云々

腹ノ課別ニ如録スルヲ得ルト雖モ其

費多寡ノ儀其ヲ以テ因勢及

才四降ノ陸奥スルハ才四降ノ所

ニ從フヘシト急施ヲ要スル事項

ハ施メシテ後陸奥スヘシ

才四降地方稅徵收ノ取限ハ前

御令通宣ニ之テ定ムヘシ

才七降ニ兩處多額金ハ毎斗七升

ノ以テ一圓半ノ間ノ歩加ヲ

斗者ニ移算帳及斗表ヲ製

シテ因勢及才七降ニ陸奥ス

ヘシ且陸奥ノ通宣金條ノ初

ニ於テ之ヲ兩處金ニ改定スヘシ

明治十年七月、同日十二年、月、日、一、月、
 某、知、稅、步、他、表、別、紙、通、之、至、
 以、方、省、之、事、

明治十年七月ヨリ
同土年六月マシ一周歲縣出納表

收入部

一料理店稅金五千三百七拾五圓

一、菓子商稅 金千七百七拾四五拾貳

一宿屋稅 金三千六百拾八圓

一古著商稅金貳千貳百六拾壹圓五拾錢

一洋物商稅金三百七拾三四五拾錢

一雇人口入所稅金七拾七圓

一三味線商稅 金三拾七圓五拾錢

一人寄居席統 金七圓

一劇場定坐稅金百五圓

一相衡稅

金三百六拾四五拾貳

一音曲出稼稅

金四百貳拾五

一司師匠稅

金貳百八拾貳

一船積問屋稅

金五百九拾八四五拾貳

一魚問屋稅

金百六

一青物問屋稅

金八拾六四五拾貳

一漁業稅

金四千六百九拾三四五拾貳

一築漁稅

金八百四拾四

一質屋稅

金千四百九拾六四貳拾五

一藝妓稅

金貳千七百六拾七四五拾貳

一揚弓場稅

金三拾八

一興行稅

金三千九百九拾貳四貳拾五

一三味線稅

金九百六拾六

一同鑑札料

金七拾七四貳拾五

一水車鑑札料

金五拾五

一石所燒鑑札料

金貳四

一諸建物修繕費金八百九拾六圓六拾九錢二分

一諸鑑札費金百拾八圓九拾壹匁八厘

一為替方給料金三百圓

一學子校費金千九百圓

一病院費金九百五拾六圓六拾壹匁六厘

一報告摺立料金四拾七圓五拾貳匁

一通斗金貳萬五拾七圓八拾壹匁七厘

一收入惣斗金三萬八千六百七拾貳圓五拾六匁六厘

一仕拂惣斗金貳萬五拾七圓八拾壹匁七厘

收入ノ仕拂ヨリ差千高

金壹萬八千六百拾四圓七拾五匁九厘

明治十一年十月 栃木 縣

乙未三月三十一日

明治十一年四月三日迄各稅出納表

別紙ノ通ニ依リ提出スルモノ

明治十一年四月三日迄各稅出納表

縣稅出納

以江士年自羅從步細表

一 卿兒店稅 金四十七兩零八四

一 某子店稅 金九兩零四

一 某子店稅 金六十八兩零四

一 某子店稅 金五十八兩零四

一 洋烟店稅 金一百七十四兩零

一 口入店稅 金四十四兩

一 三味店稅 金七十四兩零

一 人分店稅 金三十四兩零

一 某店稅 金七十四兩零

一 某店稅 金五十八兩零

一 某店稅 金三十八兩零

一 某店稅 金四十八兩零

一 某店稅 金五十八兩零

一 某店稅 金七十八兩零

一 某店稅 金九十八兩零

一 長引税 金千四百三十四兩

一 三河税 金拾七兩

一 月米札料 金拾五兩四錢

一 米倉多納 金壹萬七千六百八十四兩

内金六十四兩

海軍金壹萬三千四百七十四兩

仕俸、外

一 御美費 金七百五十四兩

内

御美月給 金七百五十四兩

同官給分給費 金拾九兩四錢

同官給分給費 金拾九兩八錢

常月費 金七百五十四兩

運送費 金三百五十四兩

牧夫給料 金七百五十四兩

同給費 金拾八兩

洋銀及銅料金銀等項以爲奉養之

用至誠懇懷實金銀等項以爲奉養之

補賜金 金以爲用

金銀等項以爲奉養之 金九圓

一教養等項金銀等項以爲奉養之

外金等項以爲奉養之

七年十月分三日止係奉養之項八圓
此金等項以爲奉養之

內

備月給 金以爲用

諸產等項 金以爲奉養之

諸物料 金以爲奉養之

諸服費 金以爲奉養之

巡查二官內膳費金銀等項以爲奉養之

巡查乙丙 以上各金銀等項以爲奉養之

產膳費 金銀等項以爲奉養之

証人膳費 金銀等項以爲奉養之

佐竹氏 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

内

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

一 通銘在銀裏表 金百七拾五圓七拾五匁

明治十年十月

松本

乙未年十月十日

警察署ノ職名ヤシタノ宛書ヲ以テ
周知ノ為メテノ保全スル者ニシテ一
日ニテ可ク若クナリ得ル而シテ亦
ナシトスルハナキ部ト云フ巡査ニ
百拾名ニ及ブスルヲ各地ニ配
ス一人ニシテ數人目ニ巡査ヲ擔任ス
ルヲ以テ之ヲ維持ノカニ及ビ己ニ

警察署

昨海沿九年ハ夜中迄帝監守ノ
室ヲ被ル者少ク三万者セリ時
年ハ中少四万者セリ乃今一
軍ヲ移ルスニ至監守セリ
金穀ハ各年皆方七千圓ニ出
入ス而シテ其緡結ニタル賊九
千七百者十年ハ千七百者
捕賊ノ數盜難ノ數ノ半ニ至ル

難モミテ為統スル者又貴人ナ
ラ知ラズ抑ニ賊ノ多キ如ク
所以ハ或ハ時勢ノ然ラシム
リト難モ年々十萬者ナリ
ニシテ之ヲ抑止スルノ力不
足ナルニ出ルナリ然ルニ地
祖改正民費多ク然レテ
ニ移ラズ乃ニ任僕ノ道ト難
モ縁ニ在

未少多ノ在る事ヲ留意シ以テ
今日ニ至ルモ亦思ハサルニ非サルナリ
今ヤ改租ノ事ヲ議下功ヲ竣ヘ
漸ク以テ臺ノ緒ニ就クヲ得ルニ至
シ先ツ以テ危害ヲナスモノヲ防止セサ
レハ吾民括括弊害スル賊臺ヲ以テ
固安ノ位ニ至ラシムルニ至ル可シ
是故ニ今般亡才ハタル七考ヲ布

達ノ通リノ事ヲ爲スルヲ留意スルモ
ハ此等及標位ノヲ留意スルモ
ハ此等ノ通リノ事ヲ爲スルヲ留意
ハハ此等ノ通リノ事ヲ爲スルヲ留意
ハハ此等ノ通リノ事ヲ爲スルヲ留意
ハハ此等ノ通リノ事ヲ爲スルヲ留意
ハハ此等ノ通リノ事ヲ爲スルヲ留意
ハハ此等ノ通リノ事ヲ爲スルヲ留意
ハハ此等ノ通リノ事ヲ爲スルヲ留意

明治十一年十月

新島金太郎

乙未年方年号

六區

本年七月八日海防二年六月近一周年

十重方年方年号

及別紙之通之内容出金銀ノ

後方年方年号

及減課ノ率金銀ノ得此年号

七重方年号

乙未年土月方年号

警務局長後算内譯

一金武方年号

警務局長

米井内譯

金武方年号

俸給

内

金武方年号

警務局長

四号人 五号一人 六号二人 七号三人 八号四人 九号四人 十号七人

金武方年号

巡査員

一乃六八人 二乃三十人 三乃四十八人
四乃一百人

金百五拾五圓 給與

内

金以拾圓 活潑料

金拾五圓 明燦料

金百五拾圓 思愛

金千五百拾圓 藤葉

内

金五百圓 土塵部及分藤葉

金五百拾圓 同葉内藤葉

金百圓 同正内藤葉

金四百拾圓 新便電位

金五百拾圓 豫算内課

一金五万五拾圓 外稅金

分一金八拾圓の二美方
自以十事七事
同去年六月也 藤葉

一金五万圓 藤葉及稅金

一金壹万五千圓 課税金

分一金壹万の三四割買収する 昭和四年七月 出資者
昭和四年六月迄

一金三百五十圓 上級金

分二金九拾万九千餘圓を以て 昭和四年七月 出資者
昭和四年六月迄

迷井 内子

金貳万の五割を以て買収する 昭和四年七月 出資者
昭和四年六月迄

内

金壹万三千の五割を以て買収する 昭和四年七月 出資者
昭和四年六月迄

新屋

金二万五千圓 新屋

金四万五千圓 新屋

金五萬圓 新屋

金七十一万三千圓 新屋

内

金八百圓 新屋

金貳万五千圓 新屋

金四百圓

向四百圓以上者

金四千圓

法產修費

金八拾圓

知人年々修費
知人年々修費

金四千九百六拾圓八拾事

修費

内

金七百圓九拾事

修費

金三千四百拾圓

消耗品

金百拾圓

運送費

金四百拾圓九拾事

修費

金七百圓九拾事

修費

戸長及修費

一戸長ハ行政事務ハ修費スルトモ

村ノ現事務タルトモ二村ノ修費ナル

者ノ修費ナルトモ三村ノ修費ナル

役場

ヲ為サレテ得ス依テ之ヲ無ク用テ概
ふル左ノ如シ

地方税 此乃稅重以止六
稅必輕則六稅到 以主
スヘキ費目

一 諸廢及之江不ハ注道席在ノ稅費

一 戶長江場筆生又ハノ爲人屋位及

廢費

一 戶長役場室屋材料

一 戶長江場下並薪板ノ薪彫刻費

一 戶長江場修他又ハ修系修

一 戶長江場修繕費

一 卓椅不用筆等自付斗ハ是程ノ修

米費

一 硯 硯 筆紙墨水滿瓶並肉地

硯田方午枚綴又紙ノ修繕費

一 裁板室稅裁包丁漫入及對引

子嫌苦費

十一 萬家油燒燭子嫌苦費

十二 火油烟年皇所無火者土瓶蓋

碗皇布巾子嫌苦費

十三 提燈二丁油因灯者皇布

雜巾子嫌苦費

十四 孫家掛札所無此者嫌苦費

十五 柳文信年卸役稅

本藝自八總子此乃稅ヲ以テ之知

スヘシト雖モ才一項才二項トモ可

材限ノ收候用ニテ此迄津在ノ

藤葉並ニ才八項中ノ年紙書及

才十一項才十項ニ指ル藝自所村

限ノ收候用ニ之知スルモノ收候費

ヲ以テ之知スルモノト不取モ事勢

ノ由知 收候事勢ト可村ニ之知スルモノ

ハ多ク事多ク物々三ツ区々スヘ
一、三ツ区々校舎、凶悪、後、備、善、年
町、村、場、屋、後、校、果、用、急、水、汲、酒
井、堰、植、修、繕、掃、除、善、年、ノ、水
却、テ、三、町、校、場、ノ、帳、帳、ウ、以、テ、成
立、ス、ル、モ、ハ、皆、五、町、村、ノ、帳、帳、善、年
以、テ、立、安、ス、ヘ、

一、各、町、村、三、長、自、宅、三、於、テ、事、務、方、五

板、フ、向、ハ、信、地、又、ハ、信、家、信、方、ト、モ、別、ニ
支、給、セ、サ、ル、ヘ、シ、ト、雖、モ、三、次、校、場、ニ、用、工
ル、場、所、ノ、須、要、ノ、多、様、善、年、ハ、地、方、税、ニ
属、ス、ヘ、

一、各、町、村、三、長、自、宅、三、於、テ、三、次、善、年
五、板、フ、向、ハ、地、方、税、フ、以、テ、立、安、ス、ヘ
キ、善、自、ノ、才、十、一、項、及、ヒ、才、十、二、項、中、
油、酒、灯、火、ノ、三、三、ハ、在、来、ノ、物、象、ヲ

流用せしむへし

一、各所村に在る自毛、膠、漆、事、等、
取扱、而、世、方、税、う、以、て、主、人、へ、キ
替、自、ノ、十、項、ノ、如、キ、消、耗、品、ハ、一
肉、斗、万、ノ、多、用、額、ヲ、各、所、ノ、後
次、ニ、依、リ、主、人、額、ヲ、付、付、ス、ル、モ、ハ
別、ニ、替、付、途、ノ、正、々、ニ、及、ハ、サ、ル、ヘ、シ

學子正石綿片俸

準一等	準十二等	準十三等	準十四等	準十五等
給額	金十二圓	金十四圓	金九圓	金八圓

同旅費

旅

外

出張行

三圓

旅費

赴任旅行	金三四八十銭
晝夜急行	同 上
滯留	金七十銭
管 内	
並旅行	金志四十銭
滯留	金五十銭

肉

月	補	三	四	ヨリ	カ	ス
		ヨリ	カ	ス		

同語彙より考定し表

職名	旅費	並旅行	晝夜急行	滞在	巡迴	滞在
等級	並旅行	晝夜急行	滞在	巡迴	滞在	
取歸	一等	一四	一四五十	五十	卒業	卒業
補	二等	九十	一四二十	四十	卒業	卒業

10

1

10

7

11

乙未九月十九日

知事漢之儀左ノ人ト當權古事ト

案此方年並ニ事

明治廿二年四月二十日

市町志ノ如シ

下都賀郡

舊上郡

治下村 左ノ志ト概序

十五番

幹事

櫻井村 國府義院

武松六番

大寺井 押山寺三郎

格三番

山本 小川 渡人

三番

今里村 小宮新太郎

三川郡

三番

細川村 河内江村

安藤郡

三番

幹事

伏見町 大川 剛

格番

富田村 系根彦十郎

少格番

赤石村 王根耕作

又裁員
名

各署

信拜町 關口 省三

上郡 厚部

議長

久保村 安室 佐野

松本署

島田村 富田 佐々木

松本署

高田村 松本 二雲

松本署

小代村 加藤 辰雄

河内郡

松本署

下田村 青木 久平

小松署

幹事

上野村 淺野 孝幸

福手

宮田村 河合 篤志

小松署

上野村 淺野 信之

小松署

宮田村 岩崎 國太郎

芳賀郡

小松署

島田村 下田 孝幸

三松署

島田村 澤本 孝幸

石巻

茅渟村 坂入 源吉

山登三卷

芳志村 大崎宗吉

三利郡

西手

山登村

市村市事

山登七卷

四崎村

市川市事

三登七卷

川崎村

清水村事

梁野郡

三登七卷

梁野村

折向市事

三登七卷

三登村

市川市事

塩部郡

九卷 新事

大板村

大板

武

三登

板野村

市川市事

六卷

板野村

市川市事

板野郡

八卷

四崎村

市川市事

板八卷

市川市事

市川市事

七卷

市川市事

市川市事

山崎八重

堀江村 江一屋平

山崎九重

新田村 山崎安助

斗 三十七人

四月十四

議事長 坂西安太郎

四三

岡田重光

五五

大川 刻

二二

新田 重光

三三

清水 信介

七五

降 氏 重光

五五

吉 板 武

九五

山崎 重光

五五

山崎 重光

五五

押山 重光

三五

河合 重光

五五

山崎 重光

別錄

四上

國府

三上

大河

二上

小川

一上

岳

中上

折

下上

野

下上

窪

三上

左

二上

柳

一上

河

下上

木

下上

○ 豫才三子

本台後月老、通、來、臺、得、望

古事、事

昨、今、年、不、可、初、事、合、備、以、將

議目

一、議、員、之、書、紀、錄、書、之、紀、錄、則

一、議、案

一、書、紀、錄、科、士、如、初、則、議、案

一、議、員、之、書、紀、錄、書、之、紀、錄、則

一、書、紀、錄、科、士、如、初、則、議、案

一、議、案

一、書、紀、錄、科、士、如、初、則、議、案

一、議、案

一、書、紀、錄、科、士、如、初、則、議、案

一、書、紀、錄、科、士、如、初、則、議、案

一、書、紀、錄、科、士、如、初、則、議、案

議者

去歲但上却賀喜川却

五穀之利梁田

三番但
河内芳

四書但 那以 汪友新

年及事之窮，事無所不至，固然是

一、金、四、千、九、百、五、十、國、九、拾、三、萬、三、千、河、川、廣、

此位

金甲子百發百中圖之存者老利根川流

四

全三國之終九武之終	田川
全六國之終三武之終	小川
全六國之終三武之終	巴波川
全六國之終三武之終	玉川
全三國之終九武之終	海川

全三國之終九武之終	田川
全六國之終三武之終	小川
全六國之終三武之終	巴波川
全六國之終三武之終	玉川
全三國之終九武之終	海川

此三川之卜 亦係其人之命也

全唐書卷之四十四 地理志

四

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

全唐書卷之四十四 地理志

女蘇

千四百廿八

阿口

三六四七

上印

千八百六

芳

三六四七

山万四

○

別紙より、その部試法係り、及び、

起伸、之、意、ハ、事、業、ノ、方、法、多、ク、ア

リト、雖、モ、此、方、法、ハ、一、方、法、ト、シ、テ、

要、用、ナ、ル、事、業、果、樹、良、法、ト、シ、テ、

而、シ、テ、其、方、法、ハ、在、擇、ス、ル、要、ハ、一、方、

法、ナ、リ、既、ニ、此、部、付、リ、タ、ル、事、業、

機、考、ノ、者、ラ、シ、テ、其、方、法、セ、シ、ト、雖、モ

未、タ、十、分、ニ、經、験、ヲ、得、ル、能、ハ、ス、然、ル

一可也、若くは、多量に強うせしめん、自
カラ、多量に強うして、他ノ多量に強ふ事、以
其比較スル、後方ニ、リキ、多量に、リ、目ヤ
動、若くは、良、強、フ、等、況、再、スル、モ、ミ、ミ、
格ノ、多量に、フ、格、セ、リ、ハ、通、ミ、至、強、カ、
防、フ、事、者、十、分、ナル、際、用、フ、興、起、スル
必、ズ、是、多、下、及、ヒ、去、部、下、ニ、試、強、場
ヲ、要、スル、事、ナ、リ、

多下試強場、勸業課長之ヲ擔任
其部下試強場、其部下勸業委員
ノ内、又、部、長、也、ヲ、擔任、セ、シ、ル、ハ、区、別、紙
後、筆、ハ、其、部、長、筆、按、テ、全、ク、後、方、
ニ、筆、後、方、ニ、多、量、ニ、一、方、ノ、其、者、多、量、
十、分、ナル、事、考、フ、リ、

ハ、部、ノ、後、方、ノ、身、ノ、任、事、者、也、ミ、進、出、
部、下、ノ、試、強、場、ヲ、設、ル、上、多、量、ニ、其、部、ノ、

ふゝあ有るは

其のり望の所は試強其後真ノ
一ノ及より其の望の所を考へ
其の望の所は代は

其の望の所は代は

其の望の所は代は

其の望の所は代は

其の望の所は代は

其の望の所は代は

其の望の所は代は

其の望の所は代は

其の望の所は代は

其の望の所は代は

其の望の所は代は

漢才軍

金會漢

官方他世課刻之係内形得入任
同之之流課スヘカラザル方格金
主平度世介親及之任事人協昇
之彼系中 世方親之部地課
刻左之月更正之東此方有金
百位主平年月之初正多金協昇
金協昇人子之格と田七拾金也

一金協昇人子之格と田七拾金也

金協昇人子之格と田七拾金也

金協昇人子之格と田七拾金也

金協昇人子之格と田七拾金也

金協昇人子之格と田七拾金也

金協昇人子之格と田七拾金也

金協昇人子之格と田七拾金也

●地價刻ノ板刻記出方中改正

金四百圓

此金概無金上

一全千八百五十八圓

乃成強博幸費

四八

金四百五圓

此金概無金上

金四百五圓

此金概無金上

金三百五圓

此金概無金上

金七百五圓

此金概無金上

金四百五圓

此金概無金上

金四百五圓

此金概無金上

金四百五圓

此金概無金上

一全千圓

此金概無金上

四八

金八百圓

金四百圓

此金概無金上

金上右巻圖

金上左巻圖

金上右巻圖

金上右巻圖

内記

金上右巻圖

金上右巻圖

金上右巻圖

金上右巻圖

金上右巻圖

金上右巻圖

明治十二年二月 謝表

功蓋千牛之草 此書之妙 不可言喻 凡欲觀者 請向本館 索取可也

用圖者 凡欲觀者 請向本館 索取可也

凡欲觀者 請向本館 索取可也

凡欲觀者 請向本館 索取可也

凡欲觀者 請向本館 索取可也

凡欲觀者 請向本館 索取可也

凡欲觀者 請向本館 索取可也

凡欲觀者 請向本館 索取可也

凡欲觀者 請向本館 索取可也

凡欲觀者 請向本館 索取可也

昭示之令
新修之水防修築表

一、修築

一、修築
二、修築
三、修築

仲夏

一、修築
二、修築
三、修築

卸

一、修築
二、修築
三、修築

甲部 一、五〇二四〇三三〇四五五五五

乙部 一、四〇二三〇二二五五五五

丙部 一、三〇二二五五五五五五五

丁部 一、二〇二二五五五五五五五

戊部 一、一〇二二五五五五五五五

己部 一、〇〇二二五五五五五五五

庚部 一、〇〇二二五五五五五五五

辛部 一、〇〇二二五五五五五五五

壬部 一、〇〇二二五五五五五五五

插入紙片

足利六ヶ所五百人 七十是三百交々者九文三十五所 四八ヶ所

○
五百五十八人六百六十六人所四十四

下都賀
○
二百九人四百九人今九十二人六百五十四人所八十七人

上都賀
○
百五十三人三皇王支五百六十九百聖之八十一時三五七呼

河内	百七十八人	自三十八人	八百零五人	三百〇四人	二千三百五十六人
----	-------	-------	-------	-------	----------

	所	九十九人	一百九十六人	四百九十五人	四百五十一人	四十一所	三十三人所
--	---	------	--------	--------	--------	------	-------

那須松之河二百五十八人
七百五十八人三百八十八人
十五人十八人

塩谷
七十三人 百三十三人 三百六十八人 七十九人 十三人

合斗
二萬五千石交今六百五十石是之率百石之人與共之則三百五十石

税金	五十八圓	一割	六十四圓	二割	九十九圓	三割	六十六圓
	五十八圓	六十四圓	六十四圓	九十九圓	九十九圓	六十六圓	六十六圓

海島中平自
平少多故上
平少多故上

一金三子
一金三子
一金三子

門群

人金三子
人金三子
人金三子

沙修

一金三子

金三子

一金三子

平氏之建議

安足梁三郡議

戶長給料之新額より其後給

及に改定に依りて八郡三縣ノ細税ヲ

改定せしむる事案ニ關し割典スルモノ

但し改定後ノ格ナキモノハ其ノ格下

格所ノ格併ニ其ノ格下ノ格重し者

ニ準テ改定スルヘシ

此條ノ格下ノ格所ノ格重し者

アツテ斗量上ヨリスレハ自ラ多餘を
ツ生シ完全ノ法アルナシ是レ恒儀
其ノツルヲ去ルルノ後ヲ思フセラレタ
ル所ナルヘシ然ルニ地月經中ニ件
ハ相ク至キ地儀ノ刻ノ如キ恒儀不
ニテ刻ト外血ヲ同フレテ四重ハ大
差違ヲ生スルアリ故ニ一方ハ完全
一方ハ劣ナルアツテ未タ善平均

アラサル至アリ況ヤ此新法ヲ聴
スレニ陸シテオラ四重ヲ以テ準規
トナスリカテサレヤ必セリ善シ法ニ
由ルニ後ハ多餘物多シテ規ト
云フヘシ既ニ事多餘ハ却ニ恒儀
ヲ多餘スト一國中ト至モ事ハ
事多餘現存スラ異ニスルモノ
カラニヤ恒ツテ残額ヲ以テ入

ノモノテ出スノ意ニキニルカスト思
考セリト云フ者ハ此ノ意ニキニルカスト思
ヲ云フ

無義無益ノ事ニ終ル 三七ノ注

春ハノ付 三ノ付 山田ノ付

下田ノ付 三ノ付

三ノ付 三ノ付

二ノ付 三ノ付

一ノ付 三ノ付

四ノ付 三ノ付

五ノ付 三ノ付

六ノ付 三ノ付

七ノ付 三ノ付

八ノ付 三ノ付

戸敷三万六千七百七十九石

此等金三千四百〇九石

通斗金三千七百七十九石

服費金四千四百八十八石

〇三十七石

金四百八十九石

金三千四百八十九石

金三千四百八十九石

戸長給與徴税金

地方税金

金七千七百七十九石

金八千八百四十九石

金九千九百九十九石

金一萬零九百九十九石

金二萬零九百九十九石

金三萬零九百九十九石

語、依ハ夫依據ノ位至但書ヲカフ
ルニ非レハ猶事是トス故ニ建議セサル
得々厚林記曰、曰此地ノ地至哀愁至
ヲ祝方之レ之ヲ祝列レ以テ祝祭ノ
差等ヲミツト忤カ依據ニテ修得
所ト目言ミ至ハ、豈盛衰無常ヲ
祝方之スルモノト云ハニヤテ説曰、但
少修得ヲリトモ連属ノ地ハ同一ノ位

ニ定ムルノ必要ニ方法ナシ之ヲ分別
セハ、多額ノ所所モ又分別ス可キモノ
アリト一ニ意ハ志ナレトモ本ヲ指テス
レテ其末ヲ齊シフセハ其地ノ相
様モ等々然ヨリテ其末ヲ齊シ
鳥ノ目ノ白ヤ
故ニ白鳥トスルナリ既ニ概別シテ祝祭ノ差等ヲ
ミツト云フスヤ甲種ノ其末ヲ以テ之ヲ比セ
ハ公平均等ハ勿論ナリ而シテ其末

盛衰勢用ヲ異ニシ名義同シカラサ
ル亦故ヲ同一ニスルハ折衷ヲ目スシ
ニ多量ヲ取スルニ似テリ流ニハ正
均ニ拘泥シテ大半均ヲ不同ニ措
クをモろ解スウラス固ヨリ高所ヲ
概別シテ甲乙丙部トスニ移参
以仿シカメキモノアリ極ニ近屬ヲ以
テ爲スレハ必ラス不権衡ヲ生セン多量

ヲ以テ之ヲ取スルノ三年ナルヲ見
更ニ一歩ヲ進ニテ考レハ甲部ノ所存
リトモ場末ノ景況を以テ折衷ハ
下シテ一町ニ爲トスルモ其ナルナレ
カ是ヲ陳シテ去々ノ明統ヲ爲フ
ト云フ

後片九平

縣會議員

題多如舍事以之同情
其終之獲多之序色終
其多之序

明治三十四年三月
初多如舍事以之同情

○

縣會議員

明治三十四年三月
初多如舍事以之同情

一人多如舍事

後片九平

内

金三田之修後

後片九平

是二日金三田之修後
初多如舍事以之同情

金三田之修後

後片九平

是二日金三田之修後
初多如舍事以之同情

縣會議員

明治三十四年三月
初多如舍事以之同情

一金路圖

軍内 金路圖

是日... 四十... 是日...

同... 同... 同... 同...

一金路加田分帳

王... 王...

金路加田分帳

是日... 金路加田分帳

一金路加田八松表

是日... 金路加田八松表

同... 同... 同... 同...

正德九年正月十九日
二月十九日
三月十九日
四月十九日
五月十九日
六月十九日
七月十九日
八月十九日
九月十九日
十月十九日
十一月十九日
十二月十九日

沙面

初九日
初十日
十一日
十二日
十三日
十四日
十五日
十六日
十七日
十八日
十九日
二十日

正月十九日
二月十九日
三月十九日
四月十九日
五月十九日
六月十九日
七月十九日
八月十九日
九月十九日
十月十九日
十一月十九日
十二月十九日

正月十九日
二月十九日
三月十九日
四月十九日
五月十九日
六月十九日
七月十九日
八月十九日
九月十九日
十月十九日
十一月十九日
十二月十九日

正月十九日
二月十九日
三月十九日
四月十九日
五月十九日
六月十九日
七月十九日
八月十九日
九月十九日
十月十九日
十一月十九日
十二月十九日

正月十九日
二月十九日
三月十九日
四月十九日
五月十九日
六月十九日
七月十九日
八月十九日
九月十九日
十月十九日
十一月十九日
十二月十九日

正月十九日
二月十九日
三月十九日
四月十九日
五月十九日
六月十九日
七月十九日
八月十九日
九月十九日
十月十九日
十一月十九日
十二月十九日

正月十九日
二月十九日
三月十九日
四月十九日
五月十九日
六月十九日
七月十九日
八月十九日
九月十九日
十月十九日
十一月十九日
十二月十九日

正月十九日
二月十九日
三月十九日
四月十九日
五月十九日
六月十九日
七月十九日
八月十九日
九月十九日
十月十九日
十一月十九日
十二月十九日

新政府ノ下ニ於テモ
舊政府ノ下ニ於テモ

官制ノ長尾ノ出ルル所ニ在リ

會聯會ノ儀ニ付テモ是ノ如ク

違フモノナシトシテ左ニ掲載ス

今般若會即會同役トシテ

後ニモ亦同トシテハ之ヲ違フ國

會ヲ案キ以テ全國ノ上儀ヲ採收セ

ラレテ亦同トシテハ之ヲ違フ國

況ニテハ國會ノ權モ亦亦然

テハ今幸ニ國會ニ在リテモ亦亦

上ニ先ツ中ニモ同ハ自ラノ政府ニ

於テ凡ソ全國ノ上儀ヲ採收セ

キモノハ總テ各府縣ノ聯會ニ在リ

用キテ之ヲ以テ審議セシメテ採收

スルハ是猶國會ノ上儀ニ在リ

國會ヲ採收スルヲ以テ之ヲ採收

考り其法を以て移すに少くは考へ
らぬが其果てに正生上の同業
にモリしりしを何年か其法を
以て伝へしるに少くは考へ
以て其法を以て移すに少くは考へ
以て其法を以て移すに少くは考へ
以て其法を以て移すに少くは考へ
以て其法を以て移すに少くは考へ
以て其法を以て移すに少くは考へ

テ及ハシテ通ルヤ

徳川國金目録を以て

百江十年十月より其法を以て

其法を以て移すに少くは考へ

[illegible]

清為之步名云其小書曰水無定

一、副儀長、勿傷者、候より一
二、通り通し、此ノ下、候
三、口々々々、此ノ下、進リ候
四、才三斗七、久、取手少、後、發

[illegible]

福金ハ多ク（三）月又ハ暮リ去ル
 云フモ年ニテ三年ノ夜ノ智
 ニ時ヲ移ル事ニハ
 一考スハ智ハ相成ル事ナシ
 一此ノ事ハ彼ノ事ニ同義ニシテ

一 是の如きは、
一 是の如きは、
一 是の如きは、

一 是の如きは、

一 是の如きは、

一 是の如きは、

一 是の如きは、

一 是の如きは、

一 是の如きは、

一 是の如きは、

一 是の如きは、

一 是の如きは、

一 是の如きは、

一 是の如きは、

依之宿儀ノ上左ノ事ニ當リ
道ノ七ノ事ノ事

依之宿儀ノ上左ノ事ニ當リ
道ノ七ノ事ノ事

依之宿儀ノ上左ノ事ニ當リ
道ノ七ノ事ノ事

柳山常景記

古史志記

形若無形

溪山行記

中興如史記

岩崎園左

富田彦景記

園省三

市川安景記

隆江寺景記

清山水景記

柳山行記

終不景一

去板武

海山行記

終不景一

梁可立

心以懷助

小篆

大川劉

清田作基

江蘇省立醫院

安王順聖

初本會館時新殿

呼吸器病ノ多シ

口 芥 祝、主 天、信、ル、却、家、下、

政上之注同入キ予

後土正神

○ 陸家令、才力優厚、亡名、爲

行上 漢名 李琬 子 琬 臺 子 申 子 琬

值

○戸名改勢上ノ能ハ書ヲ記シ上
下ノ位蓋シ傳ニ於後指シタキ
留後新主ノ立位ニ由ラ部族也
臣力後臣等スルヲ要ス
以上一旬帳後
ノ月ノ中

○ 修陸所

本籍多由主

人多七千五百人

十才同抄食

少少少少少少

一平少
中代金中少少少少

以海少主

少少少少少少

七
六
四

十二年 十三年 二十五年 二十六年 二十七年 二十八年 二十九年 三十一年 三十二年 三十三年 三十四年 三十五年 三十六年 三十七年 三十八年 三十九年 四十年 四十一年 四十二年 四十三年 四十四年 四十五年 四十六年 四十七年 四十八年 四十九年 五十年 五十一年 五十二年 五十三年 五十四年 五十五年 五十六年 五十七年 五十八年 五十九年 六十年 六十一年 六十二年 六十三年 六十四年 六十五年 六十六年 六十七年 六十八年 六十九年 七十年 七十一年 七十二年 七十三年 七十四年 七十五年 七十六年 七十七年 七十八年 七十九年 八十年 八十一年 八十二年 八十三年 八十四年 八十五年 八十六年 八十七年 八十八年 八十九年 九十年 九十一年 九十二年 九十三年 九十四年 九十五年 九十六年 九十七年 九十八年 九十九年 一百年

平回

り改三平
うん五平
後五平
五平

十四

以計其量刻之三年

○地紅丸

九乃多若山同金

○ 明治二十一年一月一日現在之數

一、教子云々セト

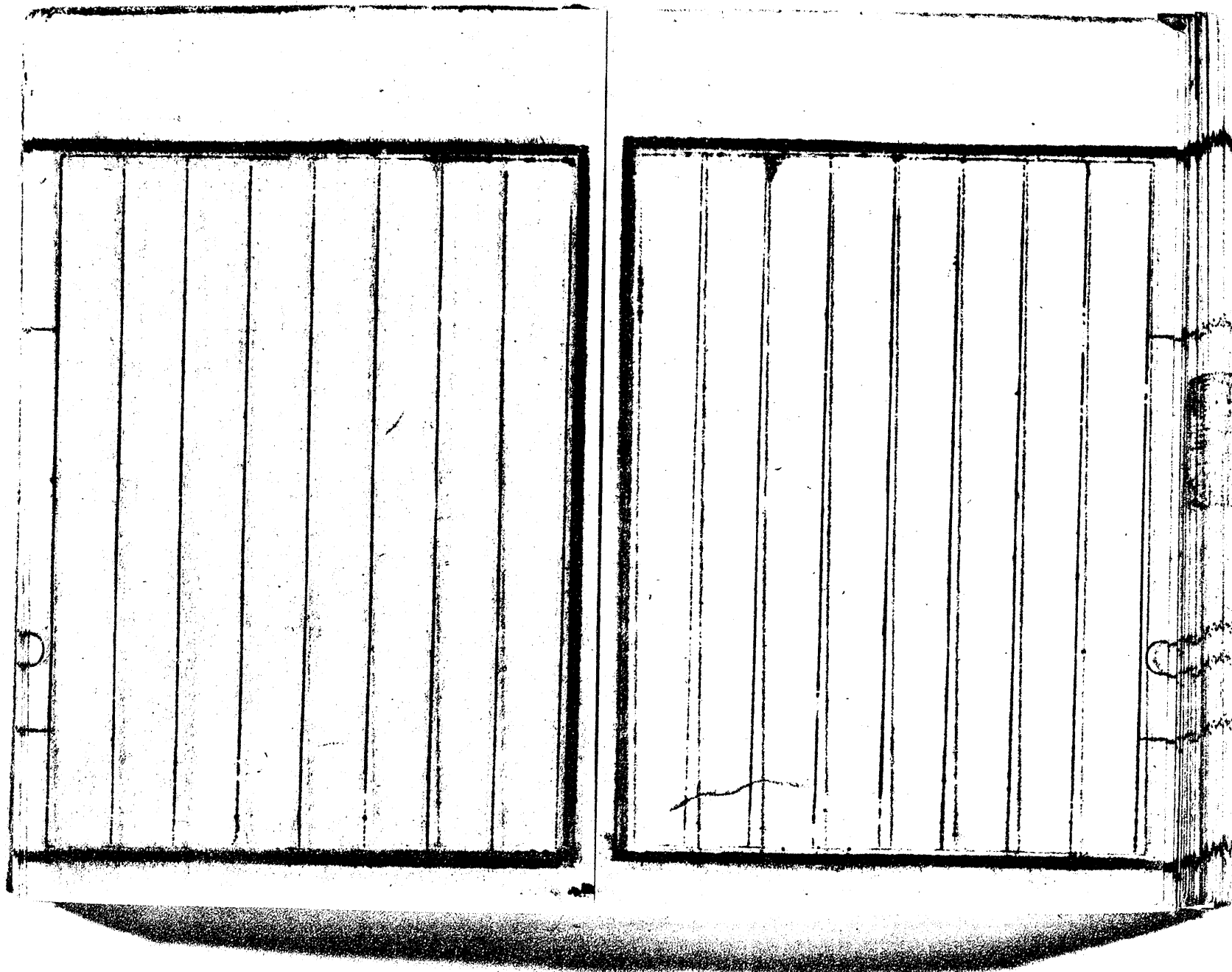
一人曰寧牛山爲好夢人

玄而之教乃四千七百

ハルマシ

午卯辛未

蓋後法家版、上為中三年
十四年或五年、平田、一二、三、
但此其、新、二、五、三、
百、三、年、十、九



以下 // 葉余白

